

2014年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進連絡会

1 事業の総括

2014年度は、従前の事業に加え、委託・助成・補助事業合わせて、7,000万円を超える規模の事業を実施しました。以下は本年度実施の主なプロジェクト事業です。

①市民活動支援拠点運営事業

- 「市民活動推進センター」管理運営事業
- 「湘南台市民活動プラザ」管理運営事業

②ICT支援事業

- 「藤沢市市民電子会議室(こみゅっとフジサワ)」管理運営事業
- 「リユースPC寄贈プログラム」神奈川事務局 企画運営事業
- 「Let's ふじさわ(IT相談コーナー)」運営支援事業

③地域グループ支援事業

- 「ゆくり庵」運営事業
- 「さんぼ庵」運営事業

④地域活性化支援事業

- 「藤沢市民まつり秋葉台会場・遊行寺会場」企画運営事業
- 「藤沢市民まつり実行委員会本部」事務サポート
- 「東海道シンポジウム藤沢宿大会」運営事務サポート

⑤活動団体基盤整備支援事業

- 「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」事業
- 「地域×クラウドファンディング FAAVO 湘南」運営準備
- 「市民活動組織の組織診断・評価」事業
- 「伊藤園チャリティベンダー(社会貢献型自動販売機)」設置サポート

⑥東日本大震災復興支援関連事業

- 「3.11復興応援プロジェクト」事業
- 「浪江町復興支援員拠点」運営事業

⑦社会貢献活動推進事業

- 生涯学習大学「地域デビューコース・ゼミナールコース」企画運営業務
- 湘南台市民センター、長後市民センター「ボランティア研修」企画実施

所感

2014年度は、予算規模が大きく変わり、手広い事業展開が図られました。市内2つ目の市民活動支援拠点である「湘南台市民活動プラザ」の動きも日を追うごとに活発になり、新規スタッフも業務に余裕を持って取り組む様子が見受けられます。

藤沢市との繋がりには、市民活動支援を通じ、市民自治推進課・IT推進課・生涯学習総務課・福祉総務課・健康増進課・青少年課・消費生活課・企画政策課など様々な部署と構築させていただいています。また、企業や地元商店(店舗)、他の非営利組織等との連携も進めています。

現代的な課題として、NPO関係者の中で大きく取り上げられていた、①市民活動団体の組織基盤強化に向け「公益財団法人パブリックリソース財団」より市民活動組織の組織診断・評価に関するノウハウ移転を受け、地域版組織診断システムの実験的な取り組みを開始しました。

また、②人材育成の一環として「公益財団法人トヨタ財団」のご協力により、インターンシップ事業を2014年6月より開始しました。

更に、③財政的支援として「株式会社サーチフィールド」との協働によりクラウドファンディングサイト「FAAVO湘南」を開設し、年度内にプロジェクトを開始しました。

このように数々の新規事業が開始できたことは、団体内スタッフの幅広い経験と能力に負うところが大きいことは言うまでもありません。歴史の浅い市民活動支援の充実を図るため、人材の確保と育成に力を注ぎ、地域活性化の一助となるよう事業を進めてまいります。

2 事業の内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①市民活動促進に関する交流会及び研修会等の開催

年間を通じ、市内各地で交流会及び研修会を実施いたしました。交流会では、団体同士がつながり新しい活動を作る機会になればと、様々な企画を実施して、新しい気づきを持ち帰っていただきました。今後も連携のきっかけになるよう様々な試みをしてまいります。

ア 交流会の開催

- ・NPO交流サロン(下記4施設にて実施)

- (市民活動推進センター、藤沢商工会館、藤沢青少年会館、善行公民館)
- ・推進センターのクリスマス交流会
(市民活動推進センター)
 - ・NPO 見本市(2回)：県立深沢高等学校、第41回藤沢市民まつり秋葉台会場

イ 研修会の開催

- ・活動支援関連講座
(市民活動推進センター、かながわ県民活動サポートセンター、藤沢市)
- ・PC 関連講座
(市民活動推進センター)
- ・はじめの一步講座(ボランティア講座含む)
(市民活動推進センター、多摩大学 湘南キャンパス Zion's club、銀の鈴、辻堂団地自治会、特定非営利活動法人シニアライフセラピー研究所、湘南文化の会、県立藤沢総合高等学校、県立湘南台高等学校、県立深沢高等学校)

ウ インターン受入事業

内容：事務作業、PC 作業、研修会交流会等補助作業

受入人数：10名(よこはま若者サポートステーション、(株)LITALICO ウィングル横浜戸塚センター、多摩大学、文教大学、NPO 法人コペルNPO)

エ インターンシップ事業

公益財団法人トヨタ財団「2014年度イニシアティブプログラム」にて「地域でつながるワカモノ×NPOインターンシッププログラム」を実施。

受入団体数：12団体 参加ワカモノ：19名

オ リユース PC 寄贈プログラム事業

認定 NPO 法人イーパーツと県内 NPO 支援センターとの協働事業の事務局として本事業を運営しています。募集地域の拡大を随時図り、今年度は、藤沢・茅ヶ崎・小田原・大和・座間・平塚・綾瀬・相模原の NPO 支援センターが参加しています。

募集：2回、寄贈 PC 数：74 台、寄贈団体：49 団体、寄贈式&講習会：2回

②市民活動促進に関する情報の収集と発信

年間を通じ、持ち込まれた情報と積極的に収集した情報を、多くの手法を用いて発信しています。また知恵共有サイトとしてリニューアルした「こみ

ゅっとフジサワ」での情報提供や発信にも力を入れています。

ア 関連情報の収集と発信事業

市民活動促進に関する情報を調査収集し、広報誌・ホームページ、メールマガジン等を通じて発信しました。

- ・収集件数：2,932件(前年比102.70%)

助成金等支援情報・市民活動団体活動情報・全国NPO支援センター情報他

- ・発信形態と件数

ホームページ(更新件数：3,725件、アクセス数：218,392ページビュー)

メールマガジン(定期発行分年間26回、臨時発行3回、発信先数2,628件)

情報誌

(ニューズレター12回、情報クリップ12回、ボランティアーズ3回)

タウンニュース(団体紹介：25件)

藤沢市内市民センター・公民館への情報提供(1,632件)

イ「藤沢市市民電子会議室(こみゅっとフジサワ)」管理運営事業

現在のインターネットサービスに対応するため、旧来から続くウェブサイト(こみゅっと藤沢)を閉じ、市役所エリア(藤沢市における市民提案システム)を新たに「知恵共有サービス」として再構築(2014年10月オープン)しました。またオフラインイベントとして「ミートアップ藤沢」を市内飲食店等で3回実施しました。

期間：2014年4月1日～2015年3月31日

ウ「Let'sふじさわ(IT相談コーナー)」運営支援事業

藤沢市民のITリテラシーの向上に長年寄与してきた事業の継続を支援するため、「IT講師懇談会」の事業展開をサポートしています。今年度より高齢者層に加え、青少年層へのITリテラシー向上支援を実施します。

期間：2014年4月1日～2015年3月31日

エ「地域×クラウドファンディングFAAVO湘南」運営事業

2015年度から本格的にスタートするため、今年度は準備を進めました。

③市民活動の普及啓発事業

施設運営による地域活性のほか、市内で実施している各種イベントへ出店することで、市民活動やボランティア等に関する周知を進めています。

ア 地域グループ支援事業(一部藤沢市委託事業)

・さんぽ庵(藤沢市高倉 870 番地)

長後商店会の全面的協力のみならず、長後地区社会福祉協議会、長後いきいきサポートセンター、長後市民センター等との緩やかなネットワークを構築し、順調に運営を遂行しています。

期間：2014年4月1日～2015年3月31日

利用延人数：2,521名(2013年度は2,426名)

登録者数：502名(18名増) 営業日：231日

・ゆくり庵(藤沢市藤沢 577 寿ビル 201 号)

藤沢東部地区の民生委員・児童委員、社会福祉協議会の皆さんと協力体制の中、運営を進めました。周知が進み、利用者数は昨年度の4倍となっています。

期間：2014年4月1日～2015年3月31日

利用延人数：2,830名(2013年度は642名)

登録者数：189名(88名増) 営業日：149日

イ 藤沢市民まつり

秋葉台会場のプロデュースと遊行寺会場のサポートを実施しました。また同実行委員会の事務局に1名出向しました。(準備期間等含む)

実施日：2014年9月27日(土)28日(日)

ウ 活動発表の場のコーディネート

実施期間：2014年4月～2015年2月(第2土曜・日曜 10:00～15:00)

実施回数：8回

実施場所：湘南ライフタウンショッピングセンター ふれあい広場

エ SAVE JAPAN プロジェクト(希少生物保護活動団体支援プロジェクト)

株式会社損害保険ジャパンと認定特定非営利活動法人日本 NPO センターとの協働事業において神奈川地区実施事業「～はす池をすくおう！！みんなの力で～」を担当。

2014年度支援団体：はす池の自然を愛する会

④市民活動に関する調査・研究

ア 地域版組織診断システムの実験的な運用

「公益財団法人パブリックリソース財団」より市民活動組織の組織診断・評価に関するノウハウ移転を受け地域版に活用するためのフォーマット作りをしています。

イ 神奈川県内の NPO 支援策調査

神奈川県内の市民活動支援施設の運営状況を調査することで、藤沢市における市民活動支援施設のあり方を研究するために調査を行いました。

調査目的：A. 県内 NPO 支援センターの開館時間等に関するリサーチ

B. NPO 支援センターの運営課題に関するアンケート調査

実施期間：2015 年 3 月 1 日～3 月 31 日

調査対象：A：41 団体（デスクリサーチ）、B：21 件（有効回答数）

ウ 委員参加

藤沢市市民活動推進委員会・社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会（評議員）
湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会、藤沢市公民館検討委員会
藤沢市シティプロモーション委員会、藤沢市ワークライフバランス会議
藤沢市生涯学習大学評議員、藤沢市社会教育委員会
公益財団法人藤沢市まちづくり協会評議委員

⑤市民活動支援センターの運営

指定管理期間 5 年のうち、2 年目が終了しました。今年度は「多様な主体（NPO・中間支援組織・学校・行政・企業等）との協働推進を模索する」というテーマを意識して各事業を実施及び検証しました。

湘南台市民活動プラザでは地域での市民活動への関心を高めるものとして「湘南台学（しょうなんだいがく）」という学習会を実施しました。各種相談事例や情報を共有することによって、柔軟な対応ができるよう今以上に連携を進めていきます。

ア 市民活動支援施設の管理運営

・市民活動推進センター 2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日（開館 307 日）

施設利用者 年間延利用者数：36,737 人（対前年比 99.14%）

1 日利用平均人数：119.66 人

年間利用件数：10,967 件（対前年比 103.54%）

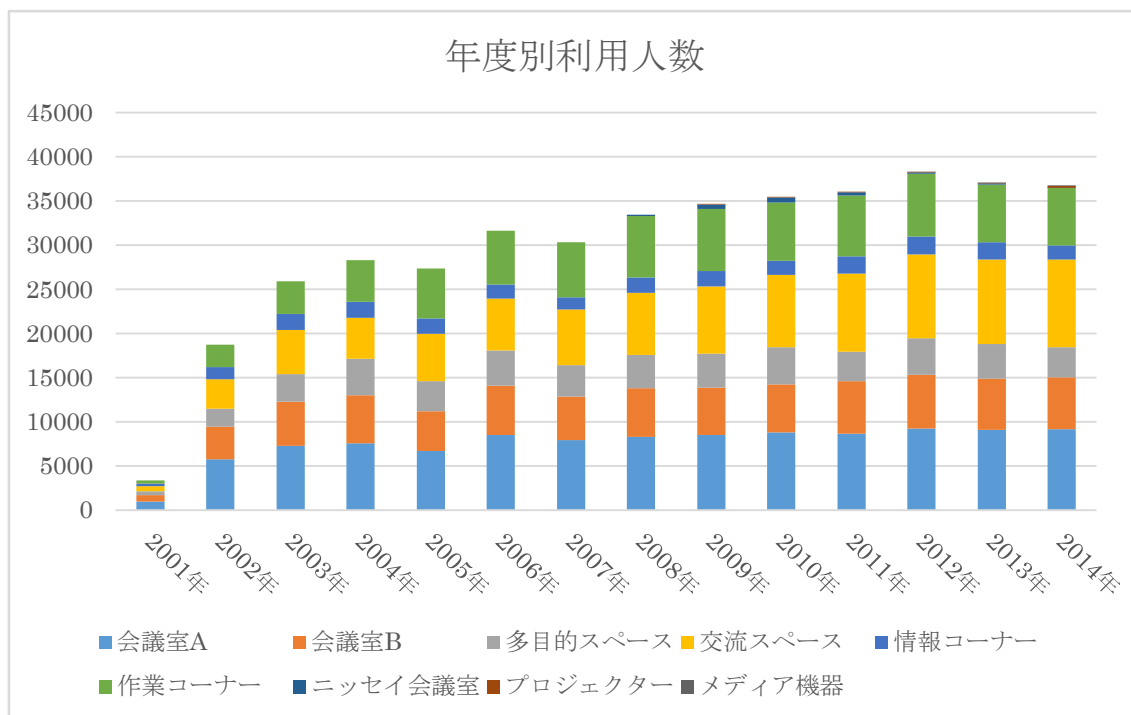
1 日利用平均件数：35.72 件

業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営(※)・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告

※サポートクラブの管理運営

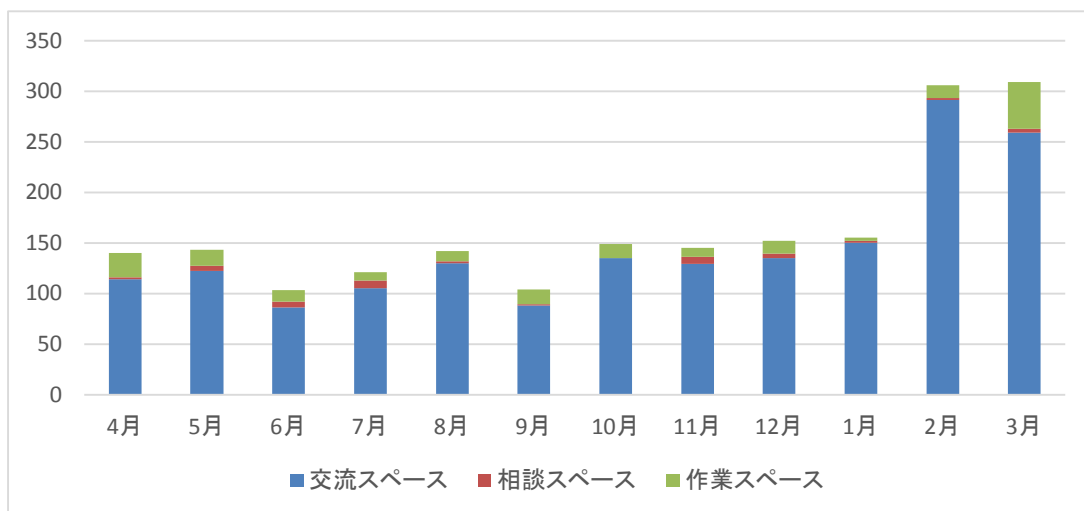
幅広い市民の力を結集する仕組みとしてサポーター制度を構築し事務局運営を行っています。現在、ワークサポート・イベントサポート・ITサポート・配架サポート・アドバイザーの5チームがあります。(アドバイザーチーム参加は一定の基準あり)

登録者数：サポーター114名、アドバイザー27名(2015年3月31日現在)



- ・湘南台市民活動プラザ 2014年4月1日～2015年3月31日(開館203日)
 施設利用者 年間延利用者数：1,976人(1日利用平均人数：9.73人)
 年間利用件数：575件(1日利用平均件数：2.83件)

業務内容：施設管理業務・活動団体登録業務・フロア管理・作業機材管理



⑥その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

昨年度から続く東日本大震災復興支援では、3.11復興応援プロジェクトに続き、浪江町復興支援員拠点の運営をスタートしました。

ア 3.11復興応援プロジェクト

市民活動推進センター内での募金活動、市内各種イベント内での被災地製作グッズ等の頒布を通じ、支援金をお預かりする事業は継続しています。その資金を元に再生PCの寄贈プログラムも継続的に実施しました。今年度は28台のPCを整備・再生、被災県で活動する12団体に寄贈を行うことができました。本プログラムは、市民より持ち込まれた不要なPCを修繕し、マイクロソフト社のシチズンシップライセンスを搭載しています。

また、被災地から藤沢市内に避難されている皆さんに向け、神奈川県・藤沢市・NPO法人藤沢市災害救援ボランティアネットワークとの共催事業である「絆交流会」に協力しました。概ね月1回ペースで開催しました。本年度は開催会場に新事業所「ゆくり庵」も利用しました。

イ 浪江町復興支援員拠点運営（単年度事業）

福島県浪江町から派遣された復興支援員の拠点運営・訪問事業のサポートを実施しました。復興支援員をはじめ藤沢市内に避難されている方を中心に、交流・情報交換を行うことで、同じ沿岸部の藤沢市内で活動している個人・団体等に対し、市民活動の継続性や重要性を伝え、市民活動の啓発や推進に寄与しました。

支援員訪問サポート日数：192日 交流会参加：6回 研修会参加：5回